助教

佐藤 淳矢

さとう　あつや

作業療法学科

【専門領域】

急性期身体障害領域の作業療法
(特に脳血管障害)

定位脳神経外科領域の
リハビリテーション

研究･実務の業績

【学術論文】

1. 佐藤淳矢：パーキンソン病に対する脳深部刺激術後の前頭葉機能の変化における作業療法介入方法の検討，埼玉県立大学大学院，2011

【学会発表】

2. 佐藤淳矢，石岡俊之，落合卓：パーキンソン病患者の脳深部刺激術後のせん妄の発生と前頭葉機能低下の特徴～4症例からの検討～，第51回日本作業療法学会，2017

3. 大塚奨悟，佐藤淳矢，佐々木一成，竹田 浩樹，済陽義久，平孝臣：本態性振戦に対する熱凝固術後のSTEFとQUESTの関係性，第59回全日本病院学会，2017

4. 大塚奨悟，佐藤淳矢，佐々木一成，竹田 浩樹，平孝臣：本態性振戦に対する熱凝固術の上肢機能・振戦の関係性，第20回日本臨床脳神経外科学会，2017

学生へのメッセージ

作業療法は確かな実践力が必要ですが医学的な知識や理論に基づいた根拠あるアプローチが基盤にあって初めて成り立つ職種であると考えます。

作業療法を用い、対象者の援助をするためにその「知識・理論」と「技術・実践力」をバランスよくかつ十分に学べるのが専門職大学です。
研究と臨床実務を経験してきた教員として、臨床での経験を活かし実際の現場で直結するような臨床家ならではの視点から即戦力となるようなスキルをお伝えしつつ、基盤となる学術的知識もお伝えし、「理論」と「実践」の結びつきを理解できるような授業を展開していこうと考えています。
さらに当校では医療・福祉分野にとどまらず様々なフィールドで活躍し次世代のリーダーシップを養成すべく経営のノウハウなどを学べる環境も整っています。

多彩な経歴や専門分野を持つ教員陣が強く結束し、皆さんを理想的な理学療法士や作業療法士に導いていきます。
一緒に進んでいきましょう。